



目次

P.1
 ・ベトナム経済交流ミッション
 ・台北インターナショナルファインワインエキスポ

P.2
 ・JAPANブランド育成支援事業：
 秋田湯沢「こまちブランド」パ
 リでの販路開拓

P.3
 ・国土交通省に対する県内主要3港
 整備促進の要望
 ・ジェットロ秋田・秋田県・秋田商工
 会議所との共催セミナー

P.4
 ・中国語講座開講
 ・秋田県国際交流員の紹介
 ・10月以降の予定

ベトナム経済交流ミッション



9月25日から29日の5日間、秋田県・当協会の主催で、協会の齊藤会長を団長に、県の方々や協会職員が参加し、ミッションが派遣されました。その目的は、昨年県とヴィンフック省で取り交わした協力関係覚書をベースに、同省の産業集積・農業の生産性向上等に協力し、今後互いに発展するための方針を協議することでした。加えて、ハノイではJICAベトナム事務所を訪問・情報交換し、JICAと富士通が進めている情報通信技術を活用した試験圃場を視察し、先端農業事業について調査を行うことでした。

一行は、26日朝、同省のグエン・ヴァン・トゥリー人民委員会委員長を表敬し、齊藤会長と互いの挨拶の後、副委員長、各部長と親しく会談しました。その後は、工業団地の(株)大橋鉄工や(株)丸一鋼管の現地工場などを視察し、外資企業への支援やインフラ整備状況などを調査しました。また、農業施設を視察し、土地改良や生産管理等でどのような連携が可能か検討しました。更にこうした視察を踏まえて、省政府実務者と交流方針を協議し、今後の経済交流・農業交流等に関する互いの協力について積極的に話し合いました。

ヴィンフック省をはじめベトナムは、これから市場としても産業面でも非常に伸びると信じます。勤勉な若い労働力を持ち、日本に対するリスペクトが高いベトナムを直接感じ取ることが出来た本ミッションは、秋田とヴィンフック省相互の発展のための大きな足がかりとなりました。秋田県企業の海外展開や経済交流推進に向け、協会として一層尽力します。



台北インターナショナルファインワインエキスポ

8月26日から29日の間、台湾・台北市で開催された“Taipei International Fine Wine Expo 2016”に参加してきました。本事業は秋田市委託事業として4年連続して当協会が業務を受け、秋田の酒や食材の販路開拓及び拡大を図ることを目的に実施しました。

会場の世界貿易センターでは従前の日本酒のほか、ワイン、ウィスキー、ビール等の出展エリアもあり、旧“Sakelism”が大幅にグレードアップされました。秋田からは(株)リプロと(株)あきた食彩プロデュースの2社が参加しました。秋田ブースでは、阿櫻酒造や那波商店の酒の展示・試飲を行い、またいぶりがっこや新商品のかぼちゃバター等の、秋田の豊富な食材の試食を実施し、バイヤー・飲食店関係者・一般客から高い評価をいただき、連日大盛況でした。若い人達を中心に、台湾で日本酒や日本食材がメジャーになってきたことを再確認できました。

また今般、国際教養大学からご提供いただき会場で配布した『美酒王国 Akita Sake Breweries and Their Stories』は、ハンディで判りやすいと大好評で、来年は中国語バージョンも作ってほしいとの声も多々いただきました。

親日的な台湾の酒市場はまだ開拓の余地があり、秋田の酒と食材のマーケット拡大の可能性は非常に大きいと実感しました。



JAPANブランド育成支援事業：秋田湯沢「こまちブランド」パリでの販路開拓

当協会と湯沢市の3事業者（(有)伊藤漬物本舗、(有)石孫本店、秋田県漆器工業協同組合）は、湯沢地方伝統の発酵食品・いぶりがっこ味噌醤油、古来より独特の手法で作る川連漆器の三つをコラボレーションすることで欧州での新たな販路を開拓するため、パリ市において販路開拓事業を実施しました。この事業には、3事業者から5名、本県出身のアドバイザー1名、当協会から専務理事が参加しました。9月23日は「プレゼンテーションと試食・試飲のイベント」をパリ日本文化会館で、9月22日から26日まで延べ4日間は「展示、試食・試飲イベント」を寿月堂パリ店で行いました。

パリ日本文化会館で開催されたプレゼンテーションは、定員128席が満員止りとなる盛況で、聴衆の90%がフランス人でした。プレゼンテーションは、秋田県湯沢市の紹介に続いて、それぞれの商品の歴史や製法などの特徴を説明しながら進行し、漆器組合による漆器研ぎ出しの実演で締め括りました。

その後、試食・試飲イベントに移りました。いぶりがっこ味噌醤油の試食・試飲コーナーに長蛇の列ができ、1時間足らずで用意した商品がなくなってしまいました。「いぶりがっこの海苔巻き」や「味噌ボール」によるスープ（味噌汁）が大好評でしたが、いぶりがっこを細かく刻んだものや、味噌をそのままぺろりと食べる方も多くいて、事業者も十分な手応えを得たものと思います。

また、漆器組合は、沈金の体験コーナーを設けましたが、希望者が最後まで途切れず、フランス人のアート・手仕事への関心の高さを垣間見た思いです。

合わせて2時間弱のイベントとなりましたが、大いに盛り上がり、聴衆の皆さんに秋田湯沢の「こまちブランド」として強く印象付けられたものと思います。



パリ日本文化会館のプレゼンテーション



パリ日本文化会館試食風景



寿月堂パリ店



寿月堂パリ店

寿月堂パリ店でのイベントは、延べ4日間にわたり、いぶりがっこ、味噌醤油の試食・試飲、川連漆器の展示を実施しました。寿月堂の従業員の方は日・仏両語に堪能なため、お客様への対応もスムーズで、色々なご質問にできる限りお答えできたものと思います。1日当たり50～100名の来店者となりました。特に、寿月堂の提案により、試食品として味噌を使用したクッキーを提供したところ大変好評で、今後の参考になりました。フランス人にはパンチのある味が好まれることを再認識し、いぶりがっこ味噌の可能性を改めて感じたところです。

一方、川連漆器への反応は、お集まりいただいたレストラン関係者やオーナーの皆様から、商品に対する高評価とともに、食器の大きさや形へのアドバイスを多くいただきました。フランスで受け入れられる食器類の商品開発の必要性を強く感じました。また、一般消費者の皆様からは、プライスが高いとの反応が多くありました。今後の展開を考える上での課題だと思えます。

この事業は、国のJAPANブランド育成支援事業に位置付けられており、平成30年度までの事業計画を策定済みです。

このたびの販路開拓事業によって、いぶりがっこ、味噌醤油、川連漆器のいずれも、商品そのものについては相当な手応えを得

ることができました。しかし、フランスにおける継続的な取引に繋げるためには、それぞれ課題も見つかりました。特に、比較的短期勝負の食品と、漆器という浸透に時間を要する商品をコラボレートするという、当初の目標の困難さを痛感しました。

今後、事業者の皆様と十分協議を重ね、今年度の残事業や、来年度の具体的な計画づくりに取り組んでいきます。

国土交通省に対する県内主要3港整備促進の要望

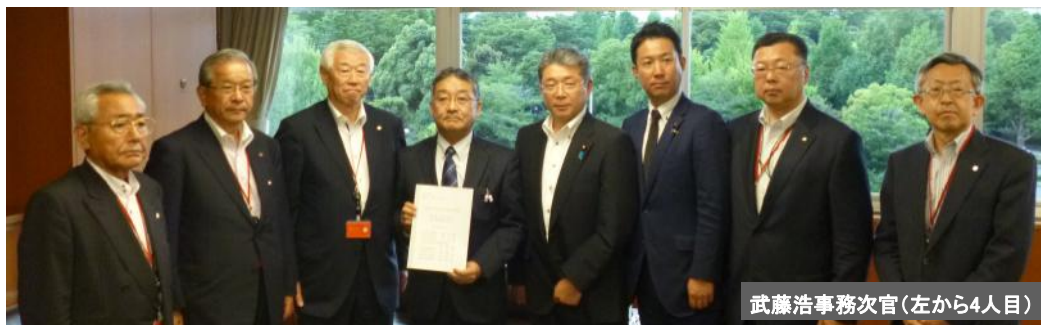
8月1日、当協会齊藤会長は、秋田港振興会会長も務める秋田商工会議所三浦会頭、秋田みなと振興会木村特別顧問、船川港港湾振興会西宮会長、能代港湾振興会広幡会長や他の方々と、国土交通省を訪問しました。そして秋田港・船川港・能代港の整備促進を要望するため「地域の暮らしと経済を支える秋田の港湾整備を目指して」と題した要望書を手交しました。要望先は石井啓一国土交通大臣他、国土交通省幹部の方々20名、主な面談先は武藤浩事務次官等3名の幹部職員でした。

各港共通の要望内容は、整備促進と港湾関連予算の確保でした。

秋田港については、「港湾静穏度の向上を図る国直轄による外郭施設（防波堤）の整備促進」「港湾背後地の人命・財産を守るための津波対策施設整備への支援」を要望しました。

船川港は、「発災時に即応支援拠点となりうる基幹的広域防災拠点としての位置づけと必要な施設の整備」「港湾背後地の人命・財産を守るための津波対策施設整備への支援」の急務を訴えました。

能代港は、「エネルギー供給拠点である能代港における国直轄事業による外郭施設及び大森地区泊地（-13m）予防保全事業の整備促進」「洋上風力発電施設建設に関連した港湾施設整備への支援」を要望しました。



武藤浩事務次官(左から4人目)

JETRO秋田・秋田県・秋田商工会議所との共催セミナー

7月13日に「中小企業のための『ロシアセミナー』～極東地域の経済・ビジネス事情～」を、JETRO秋田・秋田商工会議所と共催しました。会場は秋田県商工会館ホール80、講師はJETRO海外調査部欧州ロシアCIS課課長代理 浅元薫哉氏と、当協会専門アドバイザー ネザムトデノフ・ヴィクトル氏でした。秋田の事情をよく知る両講師が、ロシア極東の最新経済事情や日本企業のビジネスチャンスについて、事例を交え、聴講者にわかりやすい講演をしました。



ロシアセミナー

また、10月6日には「知的財産セミナー『海外市場開拓のための知財戦略・留意点』」を、JETRO秋田・秋田県と共催しました。会場は秋田県庁第2庁舎情報化研修室、講師はJETRO知的財産・イノベーション部知的財産課アドバイザー 森詩郎氏でした。このセミナーは特許庁の委託事業で、講師は、商標権取得と模倣品対策、海外市場開拓における知財戦略や留意点などについて解説しました。



知的財産セミナー

両セミナーとも、今後の貿易に不可欠な知識・情報を得ることができたと大変好評でした。



中国語講座開講



当協会主催の「中国語講座（入門クラス）」が10月12日より、約20回の予定で始まりました。

9月の募集開始直後より、中国文化に興味があり中国語を習得したい方、仕事の関係で中国語が必要な方等、受講目的は様々でしたが、積極的なお問い合わせ・お申し込みが寄せられました。

第1回目は、中国語の発音や声調の習得を目指したいという方がいる一方、「声調って何ですか？」という方もいて、ネイティブの先生が、さっそくテキストとCDを使用し、中国語の特徴の説明を始めました。

この講座が、初歩的な中国語で楽しくコミュニケーションすることの一助となるよう願っております。



秋田県国際交流員の紹介



秋田県商業貿易課国際交流員の李 雄傑（リ ユウケツ）と申します。

中国吉林省延辺朝鮮族自治州の延吉市から参りました。週に1日、秋田県貿易促進協会に出勤しています。

日本語教育を専攻して、2001年から2002年にかけて熊本大学の国語教育学科で交換留学生として日本文化に触れ、帰国してから日本語を教えながら、日本人会や「ふれあいの場」の活動を通して日本との交流を深めてきました。

チャンスに恵まれて今年4月に秋田に参りましたが、最初は経験のない貿易関連の仕事に戸惑いました。「こまち」と「秋田美人」しか知らなかった当初に比べると、今は秋田弁の勉強や県内企業の訪問を通して、秋田の世情を理解しているところです。

まだまだ足りない部分も多いですが、1年間という短い時間を十分に活かして、秋田の魅力を中国に伝え、中国文化と延辺の情報を秋田の皆さんに紹介しようと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしく願いたします。

秋田県商業貿易課国際交流員 李 雄傑

10月以降の予定

- 10/5～10/9 シンガポール・JAPANフェア
- 11/7～11/9 「FHC CHINA 2016」上海食品総合見本市
- 11/26～11/27 クアラルンプール・秋田フェア
- 11/25～12/5 タイ・バンコク 秋田・香川うどんフェア
- 1月中旬 タイ・バンコクフェア
- 1月（予定） JAPANブランド育成支援事業海外現地調査
- 2月中旬 韓国バイヤー招聘

NEWS LETTER 第38号

あなたの貿易ビジネスをサポート！



一般社団法人
秋田県貿易促進協会

ホームページも
ぜひご覧ください↓

<http://www.a-trade.or.jp/>

秋田市旭北錦町1番47号
秋田県商工会館5階
電話：018(896)7366
FAX：018(896)7367
Email：info@a-trade.or.jp